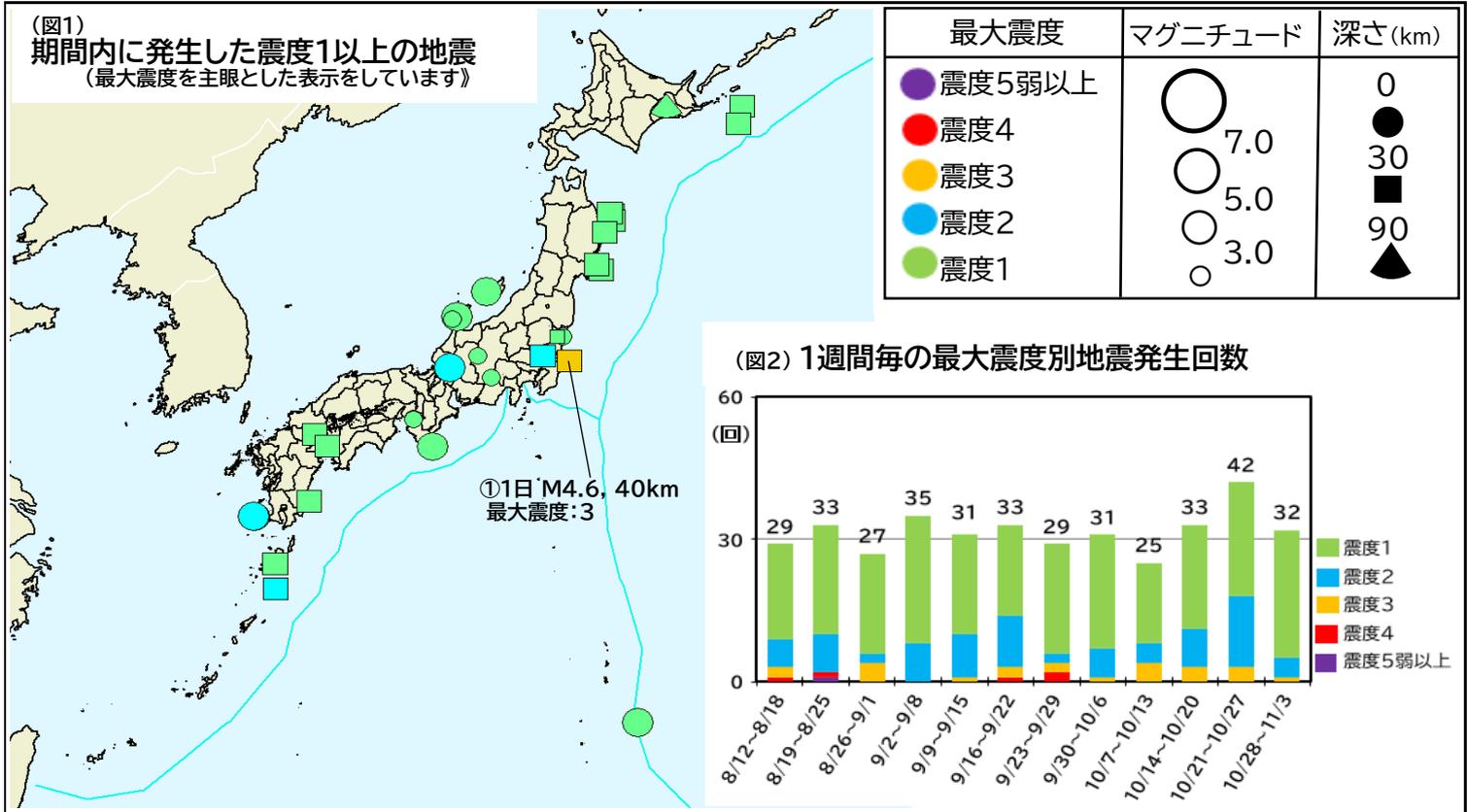


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が32回発生。最大震度は3。■
- ①11月1日23時16分に茨城県沖で発生した地震(M4.6、深さ40km)により、茨城県鹿嶋市・神栖市、千葉県旭市で震度3を観測したほか、東北地方南部から関東地方にかけて震度2~1を観測。

トピックス

- 11月5日は「津波防災の日」■
- ・11月5日は、津波防災対策についての理解と関心を深めるための「津波防災の日」と定められている日です。
- ・11月5日を「津波防災の日」とした理由は、今から170年前の安政元年11月5日(太陽暦では1854年12月24日)に発生した安政南海地震で、紀州藩広村(現在の和歌山県広川町)を津波が襲った時、濱口梧陵(儀兵衛)が稲むら(取り入れの終わった稲わらを屋外に積み重ねたもの)に火をつけて、村人を安全な場所に誘導したという実話にちなんだものです。この実話をもとにして作られた物語が「稲むらの火」です(内閣府資料を一部改)。
- ・安政南海地震の発生より約32時間前の11月4日(太陽暦では1854年12月23日)には、紀伊半島南東沖から駿河湾にかけてを震源とする安政東海地震が発生しています(図3参照)。
- ・安政南海地震や安政東海地震が発生した南海トラフ沿いでは、近い将来高い確率で大規模な地震の発生が想定されており、過去には安政東海地震や安政南海地震のように、南海トラフ巨大地震想定震源域内の東と西で、大規模な地震が短い時間差で続けて起こったことがあります。
- ・本年8月8日に初めて発表された「南海トラフ地震臨時情報」は、上記の安政東海地震が発生した場合のように南海トラフ沿いで大きな地震が発生した場合などに、続いて新たな地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合などに気象庁から発表される情報です。
- ・臨時情報は、予知情報ではなく不確実性を含んだ情報ですが、南海トラフ沿いで大規模な地震が発生すると被害は甚大となると想定されているので、今回の臨時情報の発表を契機に、家屋の耐震化や家庭での避難行動など日ごろの防災対策の再確認につながることを望まれます。

